

株式会社亀山鑄造所

【目的理念】私たちは世界トップレベルの短納期・高品質・価格を通じて社会の発展に貢献しやりがいのある会社を追求します

【行動理念】私たちは何事にも感謝の気持ちを持ちお客様の声を大切にどんな仕事にも熱意を持って取り組みます

【福祉理念】私たちは社員一人一人が人生を幸せに過ごすために社員の物心両面の豊かさを実現します



社名：株式会社亀山鑄造所
住所：揖保郡太子町原519
役職：代表取締役
氏名：亀山 佳裕
所属：西はりま支部
同友会入会：2012年4月

■事業内容及び企業の沿革

事業内容

自動車プレス金型用鑄物、工作機械、一般鑄物

沿革

- 1946年 3月 創業
- 1962年 3月 太子町に本社工場移転
- 2017年 1月 インドネシアに合弁会社
PT.SAS KAMEYAMA CASTING
INDONESIAを設立
- 2020年11月 「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定
- 2021年 3月 創業75周年

■経営理念(経営指針)の成文化について

いつ頃・どのようなきっかけ(勉強方法や経緯)で作成しましたか

2013年、同友会入会と同時に経営指針書の存在を知りました。初めは指針書という本を購入するのだと思っていましたが、自分たちでゼロから作るものだと知り、大変驚きました。そのまま成文化セミナーに突入し、初めて経営理念を作りました。

その中での出来事について(社内での出来事・社員の变化など)

最初の経営指針書が完成し、すぐに社員の前で発表しました。事務所の机を端に寄せ、直前に椅子を大量に購入し、にわか仕立ての会場で指針書発表会を行いました。“ええ会社になりよんな〜!”と涙ぐみながら話してくれた古参社員さんもいました。

現在では期の初日に来賓を迎えて発表会を行い、前日までの前期の数値報告や社員の表彰も行うなど、すっかり指針書発表会も定着しました。朝礼や各部署ミーティング、個人面談も経営指針書に基づいて進めています。

■経営理念について

行動を起こす時、問題が起きた時、改善する時、それらに悩んだ時は必ず経営理念に戻ると答えが見えてきます。この

“経営理念に戻る”という基本的な考え方に長い間気づきませんでした。

結局は、企業の根幹が経営理念なのです。つまりは、経営理念はブレないのです。だから、経営理念に戻ると言う事が大切なのです。

■今後の取り組み、抱負、想いなど

現在、社長はインドネシア合弁会社に常駐しています。日本の本社は取締役3名で“社長不在でも回る会社に”を合言葉に改善を進めています。会社の組織図の在り方から見直し、社長のトップダウン型から社員一人一人が改善を考える力を付けるボトムアップ型の会社へ変革を進めています。

また、コロナ禍のようなどんな外部環境になろうとも、うろたえない強靱な会社を目指して、引き続き社内改革を進めて参ります。



第1回経営指針発表会



現在の指針書発表会